

2025年7月7日

報道機関 各位

長崎大学教育学部附属小学校で卒業生による平和授業を開催

7月11日（金）、長崎大学教育学部附属小学校にて、フリーアナウンサーの前田真里氏と漫画家の西岡由香氏が平和授業を開催します。前田真理氏は附属小学校の卒業生で現在、長崎大学核兵器廃絶研究センターの客員研究員も務めています。また西岡由香氏は漫画を通じて被爆者との交流を続けておられる長崎市在住の漫画家さんです。お二人は写真スライドで各地の平和の取り組みを紹介し、児童書「小学生記者がナガサキを記事にする」を児童と朗読したり、対話を通してひとりひとりが自分らしく「平和」のためにできることは何かを一緒に考えたりする授業を実施します。

なお、後日児童はこの平和授業を振り返り、今の平和への思いを文章にまとめ、タイムカプセルを作成する予定です。

取材いただける場合は、7月10日（木）17:00 までに 以下の問い合わせ先までご連絡お願い申し上げます。

日時：7月11日（金）10:40-11:25

場所：長崎大学附属小学校 2 階 児童集会室（別紙参照）

対象：小学4年生と5年生の児童 約160人、保護者



プロフィール 前田真里（まえだ まり）
ピース・バイ・ピース・ナガサキ 代表。フリーアナウンサー。長崎市在住。附属小学校卒業生。長崎のテレビやラジオ番組に出演中。

2022年から現在も長崎市平和宣言文起草委員、2025年から長崎大学 RECNA 客員研究員（「対話プロジェクト」）。今年7月10日にノンフィクション児童書「小学生記者がナガサキを記事にする みんなに伝えたい戦争や原爆のこと」（くもん出版）を初出版。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学教育学部 附属小学校 教頭 橋田 晶拓

TEL：095-819-2271

◎教室等配置図

別紙

